

事業番号	08 04 38	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場試験研究費				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S56 ~		

1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業においては良好な水産環境の保全技術及び水産資源増殖技術の開発、養殖業においては魅力ある養殖品種の開発及び魚病対策技術開発を目指す。					
現状 (予算編成時)	○県内河川湖沼漁場において、コイのヘルペスウイルス病やアユの冷水病等の魚病が発生し、また、ブラックバスなど外来魚による在来魚の生息環境の悪化がみられる。 ○養殖業において、信州サーモンに次ぐ新たな養殖品種の開発及び信州サーモンの品質向上が求められている。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 持続的養殖生産確保法に基づく特定疾病の確定診断や地域課題解決に向けた試験研究開発は県で実施する必要がある。				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上に関する新しい知見を得る。 ・新知見の取得 7件(7つの試験研究項目)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	増養殖技術の改良・確立	直接	・アユの疾病対策 ・河川漁場の増殖管理手法開発 ・コイヘルペスウイルス病対策研究	3,297	3,267	3,522
	市場性の高い品種の開発	直接	・マス類の品種改良 ・マス類の高品質生産技術開発	2,647	2,623	2,647
水産環境の保全	直接	・外来魚駆除技術開発 ・温暖化適応技術開発	1,928	1,911	1,868	
合計			7,872	7,801	8,037	
事業コスト	成果目標の達成状況					
	項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
			目標	成果	達成状況	
	新知見の取得	7件	7件	7件	達成	—
	研究目標達成率	—	—	—	—	11%
	区 分(単位:千円)					
	前年度繰越					
	当初予算	10,443	9,006	7,872	8,037	
	補正予算	-918	-1,327			
	合計(A)	9,525	7,679	7,872	8,037	
Aの財源						
一般財源	2,255	2,235	2,260			
県債						
国庫支出金	1,057	1,057	938			
その他(財産収入等)	6,213	4,387	4,674	8,037		
決算額(B)	9,525	7,544	7,801			
概算人員費	職員数(人)	8.50	8.50	8.50	8.50	
概算人員費(C)	70,193	70,193	70,193	70,193		
概算事業費(B(A)+C)	79,718	77,737	77,994	78,230		
目標に対する成果の状況	養殖技術の改良・確立、市場性の高い品種の開発、河川湖沼の増殖技術開発等について計画的に事業を実施し、7つの試験研究項目において本県水産業の発展に寄与する新知見を得ることができた。					

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	県内水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業及び養殖業に関する技術開発を推進する。